

## わたしがおとなになったら

小学1年 馬場 望

わたしは、おとなになったら、おいしゃさんになりたいです。どうして、おいしゃさんになりたいかという、わたしのおとうさんがおいしゃさんで、いつもかんじゃさんをたすけていて、かっこいいとおもったからです。また、わたしのからだのぐあいかわるいときに、いつもみてる、小にかのおいしゃさんが、とてもやさしからです。

わたしは、どんなおいしゃさんになりたいか、かんがえてみると、2つありました。

1つめは、なんでもなおせるおいしゃさんです。しんがたコロナウイルスが、せかいじゅうのみんなをくるしませていたり、ほかのびょうきでつらいとおもっているひとがたくさんいます。だから、わたしはそういうひとをげんきにしてあげたいです。

2つめは、こころがやさしいおいしゃさんです。かんじゃさんは、びょうきのことをしんぱいしています。また、ちゅうしゃをうつときは、いたくないかなとドキドキしています。そういうふあんなきもちをかんがえてやさしくはなしかけてあげたいです。わたしは、小にかのおいしゃさんがやさしくしてくれたので、あんしんして、げんきになることができました。

わたしがおとなになったら、なりたいとおもうおいしゃさんになるために、いまからがんばろうとおもうことがあります。それは、べんきょうをたくさんして、いろいろなことをあたまにいれることです。たくさんしていることがあると、おいしゃさんになってからやくにたちます。そして、やさしいおいしゃさんになるために、いつもひとのきもちをかんがえてすごそうとおもいます。また、いつもにっこりして、みんなにやさしくはなしかけられることもできるようにしたいとおもいます。